

市外―田川・飯塚地区

石川 学

十一月十一日(日)、別府史談会主催、市外史跡探訪、田川・

飯塚方面を実施しました。当日の参加者は四三名。

車中では後藤重巳会長と矢島嗣久理事から筑豊・香春の歴史の説明がありました。

馬ヶ岳城跡や新仲哀トンネルの歴史、香春岳の説明を聞きました。

田川市の石炭歴史博物館に十時頃到着、世界記憶遺産の山本作兵衛の原画展を見学、心を打たれました。ガイドの説明では二本の煙突や石炭の巻き上げ機、人夫輸送機など昔の場所に建っていました。見学している場所の地下三〇〇メートルにある黒色岩盤での作業は男女とも下着のまま、上半身は裸姿で働いた様子が原画や模型でよく分かりました。

高台には日本、中国、韓国の作業員慰霊塔が有り、碑文も苦勞のなかで死亡したことが書かれていて、涙無くしては読めませんでした。

炭坑節発祥の地の大きな看板の前で集合記念写真を撮りま

した。

香春岳の姿が炭坑節の「一山、二山、三山越え」や「あんまり煙突が高いので、さどやお月さん煙たかろ」の風景が目につきました。私は昔バスの運転の仕事をしていましたので、懐かしく思いました。

飯塚では嘉穂劇場を見学しました。公演は休演中のため舞台や地下の回り舞台のからくりを見学することができませんでした。劇場の規模は大きく、千数百人のお客を収容できるとのことでした。舞台に向かって左側に花道があり、役者とお客が交流する場所でもあるそうです。座長大会などでは役者に渡す花が見事な風景をかもしたそうです。劇場の案内者から舞台のかぶりつきの説明も受けました。客席の後方にはのぞき窓もあり、地下の人力回り舞台の装置も見学できました。

飯塚には麻生公園や別荘、伊藤伝右衛門邸等がありますが、時間の都合で見学できなかったのは心残りでした。午後は天気も回復してすばらしい見学旅行ができました。別府史談会の役員の方々、本当にご苦勞さまでした。